

# 令和4年度第1回第1層協議体会議

## 会 議 録

- 日 時 令和4年7月15日（金）午後3時～4時30分
- 場 所 大田原市役所 南別館会議室
- 出席委員 10名（細井直人委員長、松本町子副委員長、相馬仁美委員、石下真弓委員、小野珠江委員、弓座ちひろ委員、鶴巢隆美委員、湯浅泰正委員、濱野将行委員、林和美アドバイザー）
- 欠席委員 1名（宮澤武夫委員）
- 内 容
  - 1 開会
  - 2 委嘱状交付
  - 3 挨拶【益子保健福祉部長】
  - 4 自己紹介
  - 5 委員長及び副委員長選任  
大田原市生活支援体制整備事業に係る協議体運営要綱第5条「委員長は委員の互選により選出する」の規定に基づき委員に諮り、意見が無かったため事務局案を提示し可決。委員長に細井直人氏が就任した。また、副委員長については委員長が指名することとなっているため、松本町子氏を指名し、就任した。
  - 6 議題（要旨）
    - (1) 生活支援体制整備事業の進捗状況について【事務局説明】
      - ①第1層における協議体及びSCの活動状況等について（資料1～3ページ）

4つの課題（広報活動、人材育成、居場所・通いの場、地域づくりの拠点）への進捗状況や、フレイル予防グランドゴルフの会、日曜あさいちへの中央地域包括支援センターの出張相談会などの開催、インフォーマルサービス冊子による周知、自助や互助の推進に係る緊急通報装置貸与事業の見直しなどを説明した。

また、ささえ愛サロン事業費補助金の令和3年度実績については7ページ目の資料2を基に、団体数や利用人数などの説明を行った。
      - ②第2層における活動及び協議内容等について（資料4ページ）

第2層協議体の活動状況について、佐久山の外出支援事業や各地区での居場所の開設状況を説明した。また、相馬SCからは親園地区の「滝岡ふれあいサロン」と野崎地区の「ふれあい・ミニサロン」の様子について報告があった。地区全体としては従来の「安心生活見守り事業」で行ってきた見守り活動にプラスして、買い物や外出の手伝い等生活支援を中心に住民全体の支え合いが盛んになっている旨説明した。
    - (2) 令和4年度事業計画【事務局説明】

### ①第1層協議体の計画について（資料5ページ）

事業計画については、これまで行ってきたグループワークの課題のうち未解決のものについて継続協議する旨説明した。

また、グループワーク以外で出た、「与一いきいき体操の普及」については本日の会議で内容説明と実践を行い、「第1層と第2層の情報共有」については今後第2層と地域包括支援センターの情報交換に第1層の委員が参加して課題や情報を共有していく考えであることを説明した。

また、事務局から、協議体会議では委員が積極的にマイボトルを利用し、サステナブルな社会の実現を目指すことについて提案した。次回協議体会議では委員が持参したマイボトルをもって写真を撮影し、広報や普及啓発につなげたい旨も併せて説明し、了承を得た。

### ②第2層における事業実施方針及び重点事項について（資料5ページ）

大田原市社会福祉協議体へ業務委託している第2層の活動について、「重点事項」を業務委託契約書（12ページの資料5参照）に盛り込んだ旨説明。

具体的には「地域におけるプラットフォーム設置の検討」について13ページの資料6を基に説明した。

また、住民の自主的な福祉活動を地域の特性にあわせて実施している各地区社会福祉協議会とさらに密接にかかわって支援、育成をし、連携を強めていくことも説明した。

### （3）その他

- ・次回会議の予定については8月下旬から9月上旬で調整している旨説明した。
- ・委員報酬について、振込先口座等の変更について確認をお願いした。
- ・市の新規事業となる介護に関する入門的研修について説明した

### 7 与一いきいき体操【事務局説明・委員実践】

最初に小林課長から体操ができるまでの経過や実際の効果について映像を交えて説明があった。また、DVDを利用し、委員全員で体操を実践した。

### 8 閉会

以上